

2012年(平成24年)6月8日(金曜日)

27 旭川・上川

## 三浦さんの声伝えたい

りんゆう観光

## 26年前の冊子増刷

札幌で配布

旭川市ゆかりの作家三浦綾子さん(1922〜99年)の生誕90年にちなみ、札幌市東区の旅行業りんゆう観光が、26年前の三浦さんのインタビューを掲載した冊子を無料配布している。インタビューに同席していた植田英隆社長(67)は「いつの時代も普遍的なテーマを示した三浦さんの魅力を伝えていきたい」と話している。

インタビューは札幌のフリーライターと植田社長が旭川の三浦さん宅を訪ねて行い、同社が86年5月に発行した「カムイミントラ」14号に掲載された。その後も何度か特別版として増刷し、旭川の三浦綾子記念文学館で配った。今回は5月に増刷し、初めて札幌でも配布することにした。

特別版は当時の内容のまま、三浦さんが話し言葉で生い立ちなどを語っている。終戦時に教師だったことについては、軍国主義の教科書に教え子に墨を塗らせたことを振り返り、「平和と民主主義、言論の自由の大切さを痛感していますよ」と語っている。

「カムイミントラ」は84年に第1号を発行した隔月刊誌。2004年に冊子から同社ホームページ(HP)上で掲載に移行し、10年の150号で終刊した。

同社は層雲峡の黒岳ロープウェイを経営していることなどから、旭川の文化関係者とのつながりが深い。植田社長はさらに個人的にも三浦作品のファンといい、「穏やかな話し方が印象的でした。自宅2階で(夫の光世さんが)口述筆記する姿からは、尊敬合っている感じが感じられました」と振り返る。

冊子の入手希望者は同社☎011・742・4233へ。同社HPでも読める。

(佐野智子)



増刷「カムイミントラ」の特別版を手に、三浦作品の魅力を語る植田英隆社長